
『うるま市・中部地区予防医療事業コンソーシアム連携協定』に関するプレスリリース

～ICT 技術を活用した予防医療体制の構築により市民の健康寿命延伸と医療費削減を目指す～

うるま市及び中部地区医療コンソーシアム（幹事企業：株式会社 OCC・構成員：一般社団法人中部地区医師会）は、内閣府沖縄振興特定事業推進費民間補助金を活用して、ICT 技術を活用した予防医療体制構築事業をうるま市内にて開始します。沖縄県は、全国と比して働き世代の死亡率が高く、県民 2 人に 1 人が生活習慣病に起因する疾患で死亡し、人口あたりの慢性透析患者数も多いという地域課題があります。

うるま市においても、高血圧疾患を起因とした生活習慣病の死亡数が多く、医療費に占める慢性腎不全の割合が高いという地域課題があることから、ICT を活用した連携により、特定健診未受診者数の減少や、慢性腎臓病(以下、「CKD」という)患者数の減少に向けた活動について、個別の健康状態に応じた最適な保健指導や治療を可能にする先進的な予防医療連携モデルの確立を目指します。

事業概要：本事業は、下記の 3 つの事業を軸に進められます。

- **特定健診未受診者に対する疾病リスク予測検査の実施及びコンシェルジュによる健康相談：**CKD を含む疾患発症リスクを予測するフォーンズビジュアル検査を特定健診未受診者に提供し、健康意識向上と生活習慣改善を促進するとともに、特定健診受診率の向上につなげます。
- **CKD ビジュアルシステムを活用した CKD ハイリスク者の新たな抽出方法の確立と効果的な保健指導：**過去の国保健診データから CKD ハイリスク者を自動で抽出し、個別の健康状態を視覚化した経過表を活用して保健指導の場で透析の将来予測を示し、住民の行動変容を促すことで医療機関の受診につなげます。
- **腎臓専門医（スーパーバイザー）によるオーダーメイド治療計画案の提供：**CKD ハイリスク者に対して、腎臓専門医（スーパーバイザー）によるオーダーメイド治療計画案を作成し、かかりつけ医への治療計画案の情報を提供します。

これらの事業を通じて、医療介入と保健指導の促進を図り、予防医療連携体制の構築を目指します。

実施体制とスケジュール：本事業は、中部地区予防医療事業コンソーシアムが主体となり、うるま市の協力のもと実施します。委託先として事業全体運用事業者、CKD サービス提供事業者、疾病リスク予測サービス提供事業者が参画します。

今後のスケジュールとして、令和 7 年 9 月下旬には特定健診未受診者を対象に疾病リスク予測検査の参加者の募集を開始する予定です。また、令和 7 年 10 月からは CKD ハイリスク者への保健指導や、腎臓専門医（スーパーバイザー）による治療計画案の作成を進めていく予定です。

お問い合わせ：本プレスリリースに関するお問い合わせは、以下の連絡先までお願いいたします。

- ・中部地区医療コンソーシアム(幹事企業：株式会社 OCC) 担当者：公共コンサルティング本部 仲間
電話番号：098-876-1171 メールアドレス：s-nakama@occ.co.jp